TeX でいこう！

インストール

■ TeX Live 2023

・Installing TeX Live over the Internet

https://texwiki.texjp.org/?TeX%20Live%2FWindows

・TeX インストーラ３

https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~abenori/soft/abtexinst.html

・インストール先

```
C:\w32tex\
```

・TeX Works をスタートメニューにピン止めする

```
C:\w32tex\bin64\texworks.exe
```

■ TeX Works の使い方

https://texwiki.texjp.org/?TeXworks%2F%E4%BD%BF%E3%81%84%E6%96%B9

1.tex ファイルを開いて編集
2. 左上の緑の三角をクリックしたら、コンパイルして、PDF で出力される。
    1. 画面下部に処理過程が出るので、エラーがあったら、そこを修正する。

■ W32TeX の使い方

・コマンドラインからコマンドを打って使う
・platex file.tex
    ・これで、file.dvi ファイルが出力される。
・dvipdfmx file.dvi
    ・これで、file.pdf という PDF ファイルが出力される。

■ TeX WiKi

https://texwiki.texjp.org/?Microsoft%20Windows

■ CloudLaTeX

https://cloudlatex.io/

https://nkgtt.hatenablog.jp/entry/2020/12/24/000000

https://zenn.dev/arks/articles/3697b25d03f8a8

■ Overleaf

・もともとは open source

https://github.com/overleaf/overleaf

・有料版

https://ja.overleaf.com/

・Overleaf で科研費 LaTeX

https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~okamoto/misc-latex.html

・Overleaf を使った日本語論文の作成

https://qiita.com/fujino-fpu/items/d92d185da730e25743cb

■ TeXstudio

https://www.texstudio.org/

Beamer でプレゼン

https://dreamer-uma.com/latex-beamer/

KakenhiLaTeX

http://osksn2.hep.sci.osaka-u.ac.jp/~taku/kakenhiLaTeX/

・\input{ ファイル名 } で、同じディレクトリー内に別に作ってある「ファイル名 .tex」をそこに読み込む。
  ・別途そのファイルを編集するか
  ・コメントアウト (%) して直接書き込む

■科研費 LaTeX

https://texwiki.texjp.org/?%E7%A7%91%E7%A0%94%E8%B2%BBLaTeX

・これを使うためだけにでも LaTeX 使うことをお勧め。

Using LaTeX in Linguistics

https://www.linguisticsociety.org/content/using-latex-linguistics

■ Gallery — Linguistics

https://ja.overleaf.com/gallery/tagged/linguistics

■ LATEX and Linguistics

https://conf.ling.cornell.edu/miawiegand/Latex_Slides.pdf

Template

■ APA7

https://www.overleaf.com/project/65158f5eb78b00018fa500f8

R との連携

■ GLMM の結果の表を LaTeX に入れるために .tex に変換するには、

https://github.com/gorkang/html2latex

・ インストール

・ フリーのオフィスソフトの LibreOffice を事前にインストールしておくこと。
  ・ .html ファイルを、LibreOffice をつかって LiberOffice の .odt ファイルに変換してから、
  ・ .odt ファイルを .tex ファイルに変換するので。

1. sjPlot パッケージに含まれる tab_model() を使って、まずは、.html ファイルにする
2. そのあと、html2pdf() を使って、.tex ファイルにする。

・ ディレクトリー名（フォルダー名）内に、空白スペースがないように

コマンドメモ

■文字のスタイル

・スタイルとコンテンツを分けるという発想がもとにある
・強調する部分は \emph{} で囲む
  ・日本語はゴチックで表示され
  ・英語はイタリックで表示される。
    ・日本語の文章中で、英語だけイタリックになるのは変なので、調整が必要
    ・*\emph{} の中で \emph{} を入れ子にすると、キャンセルされる

■文字の色

```
{\color{red} 赤くしたい文字列 }
```

■コメントアウト %

・ 連続した複数行は、選んでおいて、Ctrl+/

■行間

■記号

・ チルダ　$\sim$

■エスケープが必要な記号

■箇条書き

・ 項目の見出しを指定したい場合は \item[見出し] として、見出しの部分に記号などを入れる。（例： \item[(d)] ）

■箇条書きの項目間のスペースを狭める

・これを \begin{enumerate} の下に記入

■図の挿入

・これで、本文中で \ref{fig: ラベル名 } で番号で表示されるようになる。

```
Figure \ref{fig: ラベル名 } shows ....
```

・センタリング

```
\centering
```

・スケール

```
\includegraphics[scale=0.60]{ 図 .png}
```

■脚注

・本文中の注を付けたいか所に直接挿入
・番号は自動でつく
・{ テキスト } 部分が注の内容。

■そのまま出力 verbatim

・ varbatim の後ろにアスタリスクを付けると、半角スペースも記号で表示

■文献

・本文中
・文献の記号は、Bibtex のデータ内につけた記号

・丸カッコ内に文献を入れる場合、p をつける

・後ろの References

論文スタイル

■ TeX Wiki 学会スタイル等

https://texwiki.texjp.org/?%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E3%82%B9%E3%82%BF%E3%82%A4%E3%83%AB%E7%AD%89

・PLOS

https://journals.plos.org/plosone/s/latex

・Template and Sample for Authoring APA7 Manuscripts
　・Overleaf で配布されているテンプレート
　　・Overleaf にログインするるとダウンロードできる。

https://ja.overleaf.com/latex/templates/template-and-sample-for-authoring-apa7

-manuscripts/pvhtwcrvcmsp

・ ELSEVIER LaTeX instruction

https://www.elsevier.com/authors/policies-and-guidelines/latex-instructions

オンライン便利ツール

■表の作成

・https://doratex.github.io/misc-files/excel2tabular/
・https://www.tablesgenerator.com/latex_tables
  ・CSV でつくったものを
  ・File > Paste table data で貼り付ける

References

■ TeX と LaTeX

https://blog.wtsnjp.com/2016/12/19/tex-and-latex/

■ LaTeX 入門

https://medemanabu.net/latex/

■ Learn Latex in 5 minutes

https://youtu.be/Y-kXtWdjtmw

■文系人間のためのやさしい LaTeX 入門

http://ideas.paunix.org/latex/index.htm

■ The LaTeX for Linguists

https://www1.essex.ac.uk/linguistics/external/clmt/latex4ling/

■ BibTeX.org

http://www.bibtex.org/

■ LaTeX Wikibooks

https://en.wikibooks.org/wiki/LaTeX

■ packages with support for linguistics

https://www.ctan.org/topic/linguistic

LaTeX バージョンの問題

■ LaTeX2 がこれまで使われていたが、expl3 という TeX マクロを使った新しいバージョンが使われだしてきた

・https://zenn.dev/k16/articles/e7690b036e534c

■さまざまな LaTeX

・LuaLaTeX へ移行すべきという意見

https://www.metaphysica.info/uplatex-to-lualatex/

・pLaTeX
・upLaTeX (unicode 対応版)
・pdfLaTeX
・LuaLaTeX
  ・Lua というプログラミング言語で LaTeX を拡張
  ・TrueType/OpenType を使用
  ・https://texwiki.texjp.org/?LuaTeX-ja
  ・https://ja.osdn.net/projects/luatex-ja/wiki/LuaTeX-ja%E3%81%AE%E4%BD%BF%E3%81%84%E6%96%B9
・XeLaTeX
  ・OS のフォントを使用
  ・https://tug.org/xetex/

Tips

■ Overleaf のソースコードをローカルで使う

・ Overleaf の左上のメニュのあたりから、ダウンロード　ソース　を選んでダウンロード
・以下のエラーが出たら以下のように修正
  ・ pdfoutput のエラーはコメントアウト
  ・ pdf ファイルの読み込みのエラーは ,dvipdfmx を追加する
・Dvipdfmx

https://tug.org/dvipdfmx/doc/dvipdfmx/dvipdfmx.pdf